

地熱発電 理解促進 事業報告会



⑥ まちづくりオープン会議で調整役を務めた山崎さん
⑦ 参加者の集合写真



地熱発電理解促進事業報告会は1月12日、市役所で開かれ、市民や学生など約50人が参加し、地熱を生かしたまちづくりについて、意見を出し合い、理解を深めました。

平館高の生徒による地熱探検隊の活動発表や、夏休みに開催した小学生向けの特別プログラム、第2期沸騰地熱塾の活動報告が行われ、30年度の取り組みを振り返りました。

その後は、Studio L代表の山崎亮さんを調整役に迎え「まちづくりオープン会議」を開催。「こんな八幡平市に暮らしたい」をテーマに、参加者は「癒しが得られるまち」「地球環境に貢献している誇れるまち」など八幡平市への想いを自由に出し合い、地熱資源を生かした理想のまちづくりについて考えました。

平館高地熱探検隊

平館高地熱探検隊は八幡平温泉郷、御在所エリア(松尾八幡平地熱発電所・駐車場含み)の活性化策とPR方法について発表しました。

【活性化策】

▶ 空き別荘の貸し出し ▶ 温泉のスタンプリナーなどのイベント実施 ▶ 外国人向けの温泉施設 ▶ 蒸気を利用した肉まんやシュウマイなどの蒸し料理 ▶ ツアー企画 ▶ 地熱を活用した温水プールなどの新施設

【PR方法】

▶ VRで観光名所を宣伝 ▶ 温泉や特産品をモチーフにしたキャラクター



明るい選挙を呼び掛ける 啓発ポスター優秀賞受賞

30年度明るい選挙啓発ポスター作品募集の表彰式は12月25日、県庁で行われ、市内からは県審査(2次審査)高校の部で高橋愛美さん(平館高1年)が優秀賞を受賞しました。

高橋さんは表彰式終了後に市役所を訪れ、田村正彦市長に受賞の喜びを報告しました。

同作品募集には、県内118の小・中学校と高校から1,307作品が寄せられ、県審査高校の部は最優秀賞1点、優秀賞5点が選ばれています。



1つの花にたくさんの花言葉があるように1票にも大きな意味があることを表現しました。

イクボス宣言

私は、職員一人ひとりが働きやすさを実感できる組織づくりに努め、健康で活気に満ちた仕事と家庭生活が送れるよう積極的に支援することを宣言します。

一 職員の業務効率化とともに業務負担軽減を推進することにより、仕事と家庭生活ともに充実して過ごせるよう取り組みます。

一 職員の人材育成やスキルアップの支援を行い、やりがいを感じて意欲的に取り組むことのできる「魅力ある病院づくり」を進めるとともに、働きやすい環境を整備し、職員満足度の向上に努めます。

一 職員が安心して出産や子育て、介護ができるよう、また、休暇取得を推進し休暇を楽に楽しむことができるよう、協力し合える組織づくりに職員とともに進めます。

平成30年12月17日

八幡平市国民健康保険西根病院
八幡平市病院事業管理者 望月 康

西根病院魅力ある 職場づくりを進める



認定書を持つ望月病院事業管理者(右)とイクボス宣言を持つ佐々木美幸看護師長

西根病院は1月9日、県から女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む企業「いわて女性活躍認定企業等(ステッパー)」に認定されました。

働き方改革関連法が4月から順次施行されていく中、望月泉病院事業管理者は「業務の効率化・負担軽減を図り、働きやすい環境づくりに努めていきたい。また、病院は女性が多い職場なので、出産や子育て、介護など、協力し合える組織づくりも進めていきたい」と力を込めました。

同病院は30年12月に「イクボス宣言」もしており、職員が健康で活気に満ちた仕事と私生活が送れるよう支援していくことを宣言しています。